

主な改善する取り組み	主な新しい取り組み	短・中・長期
①(地域防災隊の組織化) より細かく地域に自主防災隊を組織し、消防水防と連携し日常訓練し、発災時に自主運営できるよう	⑦(ボランティア・金華助け愛隊) ボランティア相談会や各種イベントから日常生活支援ボランティアを募集し活動	短期2年
②(金華見守り愛ネット) 生活弱者や要支援者を自治会・婦人会・社協・ふれあいクラブ・民生が協働して日常の見守と発災時支援	⑧(電子地域通貨導入を検討し市に提言) ボランティア・社会活動へのインセンティブとして、地元商店の活性化策として導入を検討する	短期1年 長期6年
③(金華ふれ愛クアオルトウォーキング) ふれあいクラブと協働し市のクアオルトウォーキングを取り入れたフレイル活動	⑨(買物・病院・観光コミュニティバス導入の検討) 他地区と連携したコミュニティバスの運営を検討	短期1年 中期3年
④(ホームページ・SNS、「まち協井戸端会議」へ展開) HPの普及と若者層への情報交流SNSへ、「まち協井戸端会議」へ展開	⑩(ぎふまち寺子屋塾) 細江元金華村塾長の遺志を受け継ぎ三世交流型の学習支援(古典や武道も)	短期1年
⑤(金華安宅車支援会活動へ) 輪番制の 実行委員会を支援し安宅車の伝統護持と普及活動	⑪(空き家再生利活用をNPO・会社等と連携) 空き家を借りて商売をしたい、空家に住みたい移住したい、そんな願いを叶える取り組みに	中期3年
⑥(「狂俳」を岐阜市・岐阜県重要無形文化財に) 狂俳250年祭と国民文化祭2024、灯りの都岐阜の実施		

(あいさつ)

金華まちづくり協議会は、自治会連合会を始め金華地区の各種団体や各種グループが参画して平成29年に設立し、金華の歴史や伝統を受け継ぎつつ、現代的課題に対しても取り組んでまいりました。

しかしながら少子高齢化の進行、担い手の高齢化や不足などの課題もあり、これからの金華のまちづくりを考えることが必要となってまいりました。

今年度、地域の皆様の意見やアイデアを収集するために、30年ぶりの全戸配布アンケート、3度にわたるワークショップ、パブリックコメントを行い、今後10年先を見据えた「金華地域まちづくりビジョン」を策定しました。

今後とも、各種団体をはじめ、地域の皆様のご協力をお願いいたします。

(金華のまちづくり活動の歴史)

金華地区のまちづくり活動の歴史は古く、平成元年建設省のHOPE法(地域住宅計画)を受けて「金華のまちづくり協議会」の発足に始まり、次に国交省の景観法、歴史まちづくり法を受けて「川原町まちづくり会 H13」「伊奈波境界まちづくり会 H14」「井の口まちづくり会 H20」がそれぞれ景観保全や景観を生かしたまちづくり活動を展開してきました。

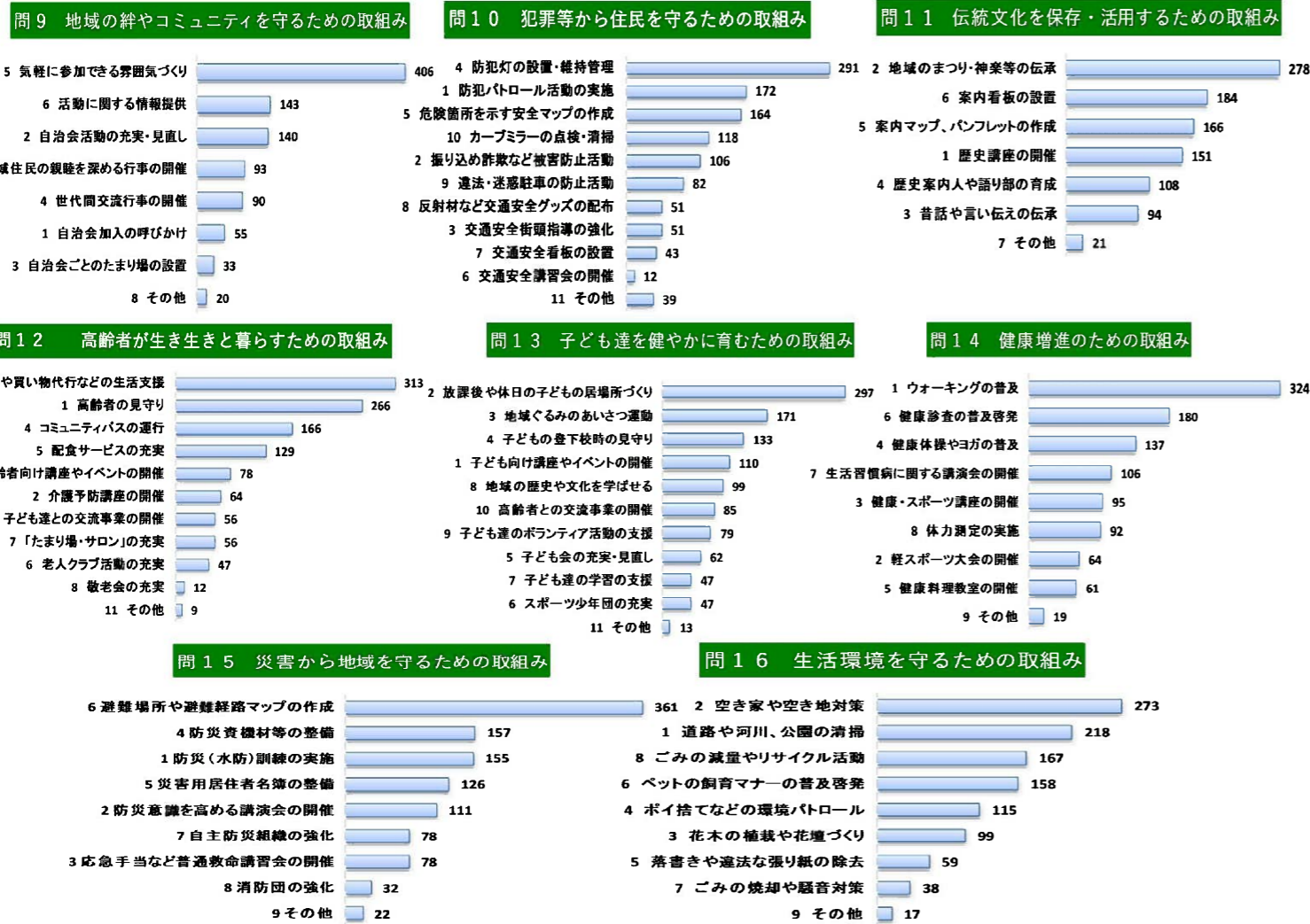
この度の「金華まちづくり協議会」は、総務省管轄の住民自治基本法という住民自治や安全安心の生活の根幹にかかわる岐阜市住民自治基本条例を受けて誕生したものであります。

(ビジョン作成の流れ)

- ・アンケート実施 8月16日～9月5日まで。1800部、全戸配布。回収754件。
- ・3回のワークショップを実施
- 10月17日(まち協役員)、11月17日(各種団体)、28日(若手20代～50代)
- ・自治会連合会役員会・金華まちづくり協議会役員会でビジョン案を5回検討し作成。
- ・ビジョン案を、各自治会各班に配布して回覧の上、2月1日から14日までの期間にパブリックコメントを募集。
- ・パブリックコメントを受けて3月にビジョンを確定。



アンケート結果

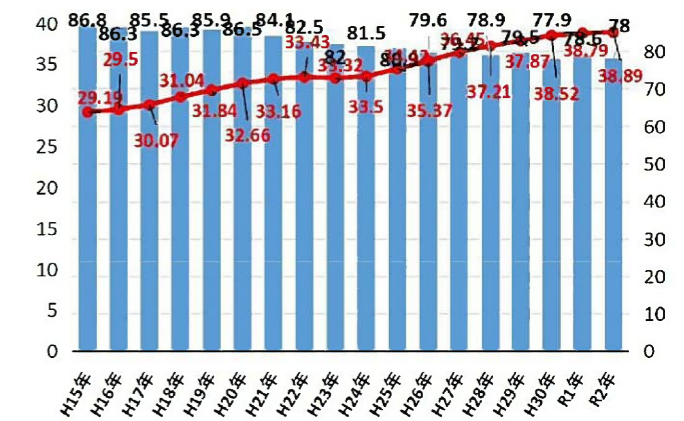


金華地区年度別人口

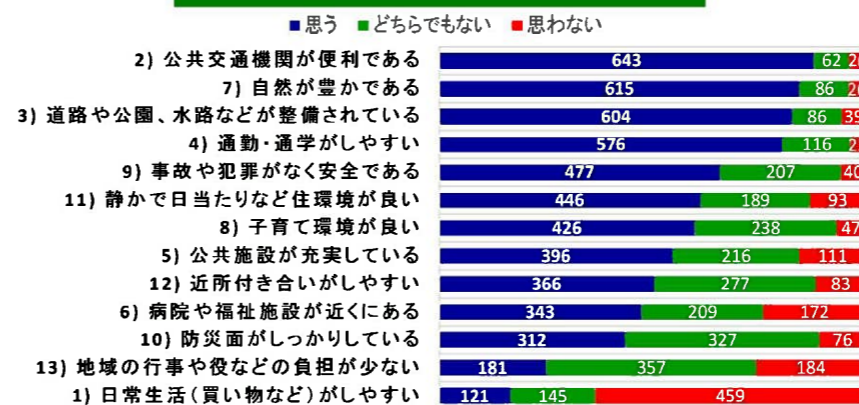


金華の現状

金華の年度別高齢化率、自治会加入率



問4 地域に住んで、現在感じていること





部会名	現在の活動	改善して取り組み	課題解決に向けた新たな取り組み（共通）
安全安心部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自主防災隊、防災訓練</li> <li>●避難行動要支援者の見守り</li> <li>●消防団・水防団</li> <li>●交通安全活動</li> <li>●青パト等による防犯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎防災リーダーを多数育成。実態に即した訓練、コロナ禍での想定 ①</li> <li>◎対象ごとに個別計画書を策定 ②</li> <li>◎団員不足に際し勧誘・紹介に協力</li> <li>◎危険個所の洗い出しを実施、行政機関等に要望</li> <li>◎青パトの運行回数増。防犯カメラの設置要望</li> </ul>	<p>1) 女性・幅広い世代・専門分野等の意見を交え、地域社会をリードする組織として、地区の取りまとめ役であった自治会連合会の機能を、まちづくり協議会が引き継ぐ。敬老会、成人式、防災訓練、まつり等、その都度、実行委員会を設置していたものは、出来る限りまちづくり協議会の一部として常設する。そのための機能移行を、順次実施していく。 ※ホールディングス（まち協）に自治会・各種団体が並列で並ぶイメージ</p>
健康福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内1位の組織率を誇る老人クラブ</li> <li>●公民館サークル・ふれあいサロン</li> <li>●買い物難民対策</li> <li>●ふれあいウォーク</li> <li>●市民体育祭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎活発な活動を支援、一層の加入促進に協力</li> <li>◎地元における仲間づくり・生き甲斐づくりの場を更に提供</li> <li>◎移動販売の位置を工夫、配達する地元店舗一覧を改訂、コミバスを検討 ⑨</li> <li>◎フレイル予防のクアオルトウォーキングを定期開催 ③</li> <li>◎中心スタッフの後継者育成。参加者層の拡大</li> </ul>	<p>2) 現在の充実した地域行事が、役員の高齢化などで、負担になり始めている部分があり、新たな担い手の発掘・育成に協力し合うとともに、必要に応じて時代の変化に即した行事内容の改廃も検討する。人材発掘のため、各種団体の活動内容の紹介、ボランティア参加相談会の機会を設定する。インセンティブとしての電子地域通貨の可能性を研究する。⑧</p>
教育子育て部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティスクール</li> <li>●子育てサークル</li> <li>●世代間の交流促進</li> <li>●ふるさと大好き（学校）</li> <li>●下校引率ボランティア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎市内トップと評価を受けるコミュニティスクールの更なる充実</li> <li>◎子育てサークルの支援、拡充</li> <li>◎ホームページなどを活用した親世代との情報交換。三世交流行事 ④</li> <li>◎地元小学校のキャッチフレーズ、地域として歓迎し全面協力</li> <li>◎メンバーの高齢化が見られ、継続に必要なボランティア募集を支援 ⑦</li> </ul>	<p>3) 世代間の交流が希薄との声があり、絆の深い地域に暮らすことの良さや、素晴らしい伝統文化を継承する為にも、無理なく繋がる接点を用意する。昨年完成したまち協ホームページが、その役割を果たすツールとなるが、まだ十分に知られておらず、あらゆる機会を通じて周知に進める。子育てを終える世代が、子ども会活動に引き続いて地域と関わる環境、新成人が改めて地域と関わり続けていく仕組みなども研究する。</p>
歴史文化・にぎわい・景観部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安宅車の奉曳</li> <li>●景観形成市民団体（川原町・伊奈波界限・井の口）</li> <li>●市の観光施策（鶺鴒・戦国・歴史・金華山・長良川）</li> <li>●大仏フェスティバル、伊奈波盆踊り、狂俳まつり他</li> <li>●金華村塾</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎安宅車支援会が発足、応援体制を確立 ⑤</li> <li>◎それぞれの景観・歴史文化を活かしたまちづくり活動に協力、連携</li> <li>◎市の目玉となる観光施策に対し、積極的に提言・タイアップ ⑥</li> <li>◎地域の風物詩である伝統行事・まつりを継承、楽しく取り組む</li> <li>◎ふるさと再発見の機会を設け、地域愛の醸成を図る ⑩</li> </ul>	<p>4) 岐阜市発祥の地であり、歴史・自然など県内を代表する財産に恵まれた故郷を愛する気持ちを自然に育むよう、地域再発見の機会を設ける。故・細江茂光前市長を招いて実施していた寺小屋・金華村塾を発展させるなど、勉強会や体験会を定期的に開催していく。⑩</p>
その他（共通）	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲各種団体の担い手・後継者不足</li> <li>▲地域の活動を知らない</li> <li>▲一部の人だけがやっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎人材の発掘・育成に協力し合う。説明会・募集アンケート等を合同開催 ⑦</li> <li>◎必要に応じて、時代の変化に即した行事内容の改廃も決断</li> <li>◎回覧・掲示の工夫と合わせ、ホームページの有効活用を図る ④</li> <li>◎自治会未加入者の加入促進。転入者が感じる敷居を下げる意識</li> <li>◎広く理解・参画されるよう、まずは本ビジョンの周知・実現に努める</li> </ul>	<p>5) 人口減少を食い止め、転入者を迎え入れるため、地域の魅力を発信するとともに、成功例が見られるリノベーションによるまちづくりを目指し、空き家の情報を整理・提供する体制づくりを市・NPO等と協議する。⑪ 尚、倒壊・衛生・景観等に著しく問題のある、適正管理がなされていない空き家については、特措法・条例の適用も視野に行政と連携を密にする。</p> <p>6) 市の施策（岐阜公園再整備・古い町並み・戦国の歴史・まちなか歩き・鶺鴒・金華山・ミズベリング他）とタイアップ。道路修景、電線地中化交通安全対策、関連イベントなどを提言し、来訪者に魅力ある環境整備を進めることで、結果として居住環境を豊かにする。</p>